

○水生生物モニタリング調査結果一覧（秋元湖H）

<秋元湖H 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
H-1	○	○	○	○	○	○
H-2	○	○	○	—	○	—

<秋元湖H 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)		
H-1 (表層)	37.6575°	140.1264°	R4.8.26	08:51	09:06	23.7	13.5	軟泥	7.5Y5/3	植物片	13.0	1.6		
H-1 (下層)						14.9								
H-2 (表層)	37.6616°	140.1226°		09:45	10:00	23.8	15.7	軟泥	7.5Y5/3	無	4.5	1.4		
H-2 (下層)						17.9								

<秋元湖H 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
H-1 (表層)	37.6575°	140.1264°	R4.8.26	08:51	7.2	0.6	2.9	8.8	5.2	0.03	1.4	4	4.2	N.D. (0.0016)	0.0094	—
H-1 (下層)					6.6	<0.5	6.5	5.4	3.8	0.03	2.9	55	70.0	0.0029	0.099	0.0013
H-2 (表層)	37.6616°	140.1226°		09:45	7.1	<0.5	3.1	8.4	5.2	0.03	1.3	4	4.5	N.D. (0.0014)	0.0082	—
H-2 (下層)					6.5	0.7	4.5	1.3	4.4	0.03	1.7	25	23.4	0.0021	0.076	—

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<秋元湖H 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
H-1	37.6575°	140.1264°	R4.8.26	09:06	7.0	101	53.6	8.9	30.2	2.500	0.0	0.0	0.1	0.3	56.5	43.1	0.0068	2.0	29	1000	1.3
H-2	37.6616°	140.1226°		10:00	7.0	195	59.7	15.8	61.4	2.380	0.0	0.0	0.1	0.0	42.7	57.2	0.0034	2.0	12	380	—

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<秋元湖H 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
H-1 H-2 H-3	湖内	37.6575° 37.6616° 37.6653°	140.1264° 140.1226° 140.1329°	R4.8.26	藻類・植物	—	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.011	—	—	—	12	N.D. (3.1)	12	—
					節足動物	軟甲	エビ [*]	ザリガニ [*]	<i>Pacifastacus leniusculus trowbridgii</i>	ウチダザリガニ	20	0.85	成体	—	—	—	15	N.D. (1.2)	15	4.9
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	3	0.56	成魚	—	—	—	20	N.D. (1.5)	20	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	3	1.9	成魚	不明消化物	内臓除去	14	N.D. (1.1)	14	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	1	1.3	成魚	不明消化物	内臓除去	17	N.D. (1.1)	17	—	
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Salvelinus leucomaenis</i>	イワナ	1	0.26	成魚	空胃	内臓除去	15	N.D. (1.4)	15	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	フナ [*]	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	7	1.2	未成魚	不明消化物	内臓除去	26	N.D. (1.4)	26	—	
H-3	流入河川	37.6653°	140.1329°	R4.8.26	粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.15	—	—	—	16	N.D. (2.2)	16	—	
H-4	湖内 および 周辺河川	37.6551°	140.1181°	R4.8.26	藻類・植物	単子葉植物	オモクカ	トチカガミ	<i>Elodea nuttallii</i>	コカナダモ	—	0.26	—	—	—	1.7	N.D. (0.28)	1.7	—	
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	2	0.087	未成魚	—	—	6.3	N.D. (0.83)	6.3	—	

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。